



2019年版

受講しておわりにしない 認知症サポーター養成講座の工夫

京都府・綾部市
社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会
事務局長 山下宣和

綾部市の概要



綾部市位置図



面積：347.10平方キロメートル

自治体基礎情報

人口	33,808人	65歳以上人口	12,500人
高齢化率	37.0%	第7期介護保険費	6,202円
要介護認定者数	2,314人	要介護認定率	18.5%
日常生活圏域数	3 圏域	包括数	直営： 1 委託： 3

認知症地域支援推進員数：4名（うち直営：1名、委託：3名）

地域の特徴：綾部市は、京都府の中央北寄りに位置する田園都市。美しい自然環境や豊かな里山・田園と農村の暮らし、平和と歴史・文化に彩られた市街地、ものづくりを中心とする多様な産業の集積、そして京阪神地域と日本海地域をつなぐ交通の要衝地であることなど、地方小都市ながらさまざまな機能や特性がバランスよく備わっています。

また、強い郷土愛や高い文化度、温厚で粘り強い市民性、加えて「郡是」の創業や「大本」の開教、日本初の世界連邦都市宣言等に見られる進取の気質、営々と受け継がれてきた地域の伝統行事など、多くの有形無形の歴史的・文化的資産を有しています。

第7期介護保険事業計画における 認知症施策の全体像

基本理念

支えあい、安心して暮らせる まちづくり
～地域包括ケアシステムの深化・推進～

平成 37 年を見据えた本市が目指すべき「まち」のすがた

- ◇ いつまでも健康でいきいきと暮らせるまち
- ◇ ふれあい豊かな支え合いの中で安心して暮らせるまち
- ◇ 個人の尊厳が守られながら住み慣れた地域で継続して暮らせるまち

〈計画推進の3つの視点〉

高齢者の尊厳の保
持

保健・福祉・介護・医療
サービスを一体的に提供
する地域包括ケアシステ
ムの構築

利用者の視点に立っ
たサービス提供

重点課題

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 地域での包括的な支援のための仕組みづくり | 4. 高齢者の個人の尊厳の保持と権利擁護の推進 |
| 2. 介護予防と生きがいづくりの推進 | 5. 介護サービスの提供体制の充実と質の向上 |

3. 認知症支援対策の強化

(1) 認知症の早期発見・早期対応の体制の充実 (2) 認知症支援体制の強化 (3) 認知症に関する知識の普及・啓発の充実

学びを実践につなげるステップアップ講座

講師：キャラバン
メイト

内容：標準教材

時間：60分

講師：社協職員

内容：社協オリジナル教材

時間：30～60分

講師：専門職等

内容：対人援助、社会資源、事例検討など

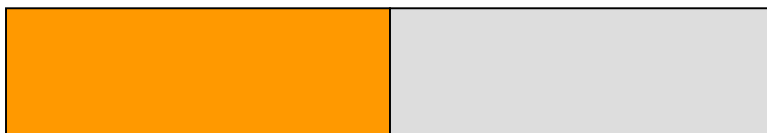
時間：20時間



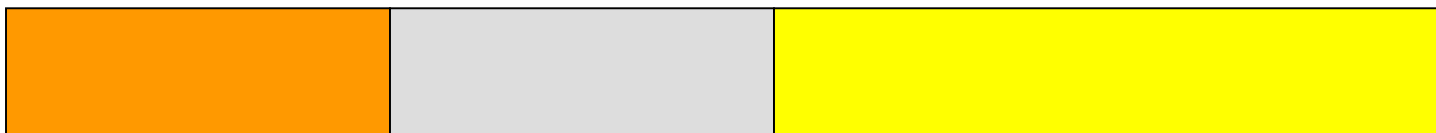
認知症サ
ポーター



シルバー
サポーター



ゴールド
サポーター



(生活・介護支援サポーター)

第2次綾部市地域福祉活動計画で位置づけ

きっかけ、課題意識

- せっかく受講していただいた人に、オレンジリングを渡すだけでいいのか？
- 認知症の人や家族の理解は必要だが、生きづらさを抱えている人は認知症の人だけでない！
- 受講をきっかけに地域づくりへの関心が芽生え、きっかけがあれば何かしたいという人がいるはず！？
- 地域福祉活動計画で描く地域像（ふだんのくらしをしあわせに、おたがいさんのまち綾部）につなげたい！



<目指したもの>

- 住民の意識を高めたい
- 住民の参加意欲を引き出したい
- キャラバンメイトなど関係者との協働体制を築きたい

取組みの流れ

ステップ

1

- 自組織内 での課題と目標、方針の共有
- キャラバンメイト との意見交換、アイデアフラッシュ



〈主な取り組み〉

- キャラバンメイト連絡会の開催による意識付け、活動支援グッズ
- 受講カードによる登録
- ハッピーカードによる受講者の助け合いエピソードの把握
- 受講者アンケートによる講習会の振り返り

- シルバーサポート店（事業所）による見守り支援の拡大
- シルバーサポーターの養成による包括的な支えあいの意識付け
- ニュースレターの発行による情報提供
- フォローアップ研修の開催による継続した意識づけと交流

取組みの流れ

ステップ 2

- 実践を振り返り、**計画策定**（課題と目標、方針の共有）
- サポーターを含む関係者** で意見交換、アイデアフラッシュ



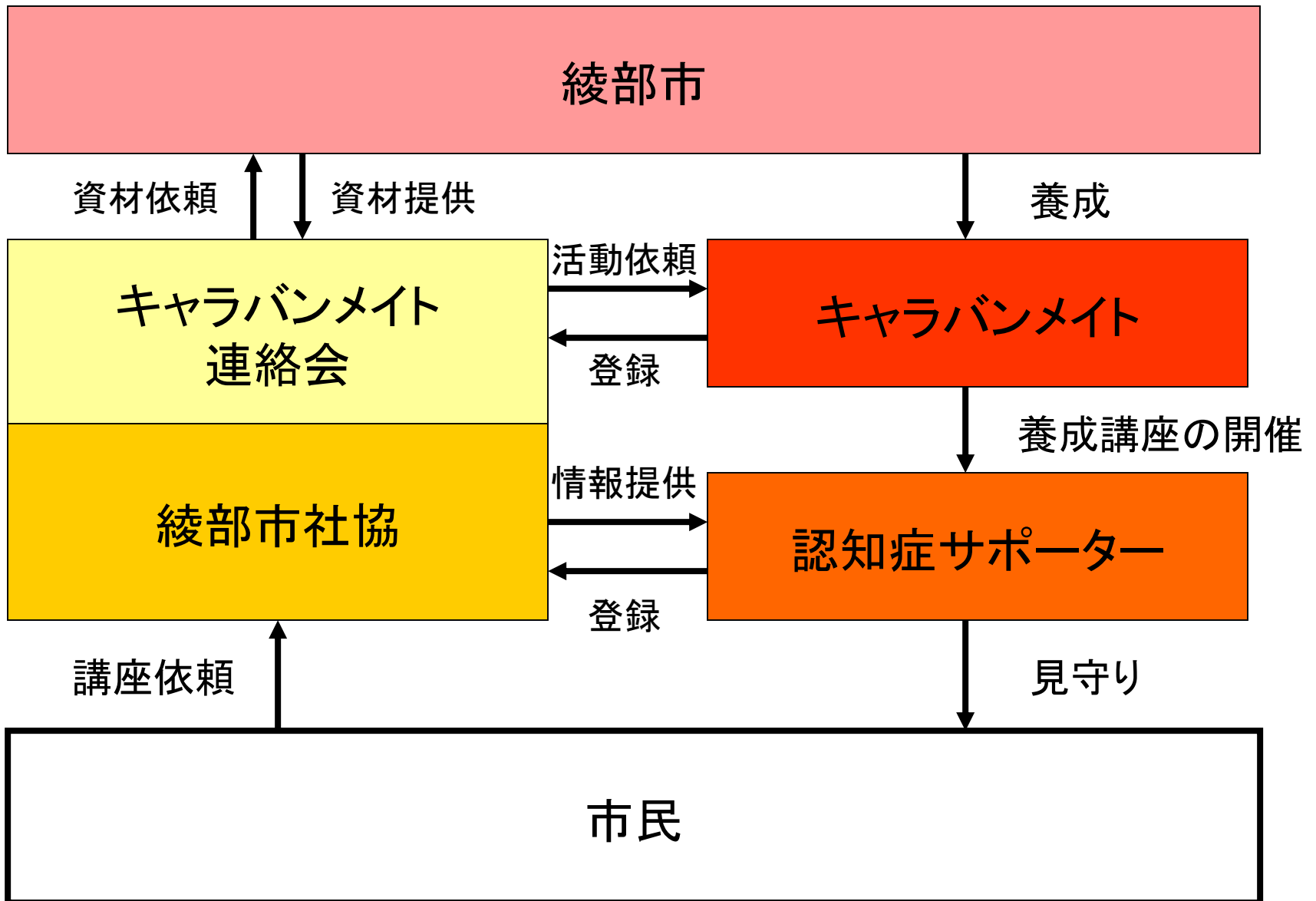
〈主な取り組み〉

- キャラバンメイト連絡会の開催による好事例の共有
- シルバーサポート店（事業所）の見える化の推進（マップ）
- ゴールドサポーター（通称Gサポ）の養成による担い手拡大
- ゴールドサポーターの相談等によるはじめの一步

支援

- ゴールドサポーターと協働による新たないばしょづくり
- ニュースレター（認知症・シルバー向けとGサポ向け）の発行
- フォローアップ研修の開催による継続した意識付けと交流
- ゴールドサポーターと協働による資源マップ作成

綾部市における認知症サポーター体制図





キャラバン・メイト連絡会



キャラバンメイト連絡会は、平成21年1月に発足。事務局は綾部市社会福祉協議会が担っています。年2回、会議をもち、ネタを出し合ったり、研修をしたりと楽しく集まっています。登録者は102名となりました。



シルバーサポーター



認知症の人だけでなく一人暮らしの高齢者など高齢者福祉の全般の理解をすすめるため、本市の状況、自立、老化に伴う心身の変化、相談窓口の紹介などを伝え、修了者にはオリジナルのリングを進呈しています。これまでに3,103名が受講。



シルバーサポーター養成講座

【内容】

- 綾部市の概要（人口構造の変化）
- 地域福祉と自立
- 高齢期の心身の変化
- 市内の高齢者の相談窓口

を基本に受講者や受講ニーズにより工夫する

【講師】

- 社協職員



ゴールド・サポーター



平成21年度にはじまった「生活・介護支援サポーター養成事業」を市から委託を受けて実施。認知症・シルバーサポーターの上位に位置付け、受講時間は20時間。438名が受講修了しました。新たな地域福祉の担い手として広がってきています。



ゴールド・サポーター養成 カリキュラム

	ねらい、内容	担当講師
1日目	ゴールドサポーターとは、動機付け、仲間づくり、自他の価値観、シルバーサポーター、認知症サポーター	社協職員
2日目	対人援助の基本、コミュニケーション技法	大学教授、相談援助専門職
3日目	キャップハンディ体験、ニーズを考える	介護福祉士他
4日目	社会資源を考える	社会福祉士
5日目	社会資源マップづくり、チャレンジシートの作成	社協職員

実施状況

(2006年～2019年3月末)

講習名	開始	回数	受講者数
認知症サポーター	平成18年	362	10, 607
シルバーサポーター	平成18年	107	3, 103
ゴールドサポーター (生活・介護支援サポーター)	平成21年	17	438



シルバーサポート店(事業所)



シルバーサポート店(事業所)

募集!!

高齢者や認知症高齢者の見守り、安心安全生活のために、シルバーサポート店(事業所)を募集します。お住いの地域で、高齢者の生活に、安心安全な高齢者の生活に貢献したい方、ぜひ、ご参加ください。詳細は無料です。必ずお電話ください。

募集する店

- ・シルバーサポート店(事業所)の募集
- ・高齢者の生活に貢献したい方、ぜひ、ご参加ください。
- ・高齢者の生活に貢献したい方、ぜひ、ご参加ください。

社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会
TEL 0773-43-2881 FAX 0773-43-2882

一人暮らし高齢者や認知症高齢者、その家族に対して必要なときに手をさし伸べたり、ちょっとした応援をする店(事業所)です。現在、55事業所が登録しています。認知症本人の散歩時の見守りに協力をしていただいている例もあります。



受講カード

シルバー（認知症）サポーター講座	
受講カード	
記入日： 平成 年 月 日	
フリガナ氏名	
住所	〒
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
性別	男 ・ 女
生年月日	大正 昭和 平成 年 月 日生（ 歳）
職業	会社員 公務員 自営業 農林業 学生 無職 その他（ ）
受講の動機	
■ 色んな生活上の心配ごとを抱えた高齢者に対し、話し相手やちょっとした家の片付け、生きがいつくりのための支援など、誰か支援の手を貸していただきたいという場合、ご支援の依頼（もちろん、あなたの都合がつくとき、できる範囲で結構です。強制ではありません。）をさせていただくことについて 同意する 同意しない ※同意するとお答えいただいた方は次の項目にもお答えください	
主な移動手段	自家用車 バイク 自転車 徒歩
特技・趣味	
* この受講カードに記載された個人情報は、綾部市社会福祉協議会が適正に管理し、シルバー（認知症）サポーター養成の適かつ円滑な実施の目的のみに利用させていただきます。 社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会	

- 講座を受講いただいた方には受講カードを記入いただき、リングと引き換えにしています
- 受講カードは綾部市社会福祉協議会が適正に管理し、受講者の把握と、継続した情報提供、フォローアップ研修のお知らせなどを行っています。
- 地域ボランティアとして支援の依頼をすることについての同意欄も設けています。



ハッピーカード

ハッピーカード2010

シルバー（認知症）サポーターとして、高齢者とこんな出会いがあった、こんな支援ができた、こんなことがあった…という出来事を記入してください。みなさまの経験を今後の活動に生かしていきたいと考えています。このカードは毎年年度末に綾部市社会福祉協議会に提出してください。

おなまえ

月 日	活動内容	メモ
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		

社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会

- サポーターとして、高齢者の方とのエピソードを記録するものです。
- これにより、サポーターのみなさんが地域の中で支えになっている事例を集めることをねらいとしています。
- 年度末にカードを回収するようにお願いをしています。

[illegible]

受講カード提出者には、年2回ニュースレター『シルサポNEWS』を届け、情報提供をしています。ゴールドサポーター向けの情報誌『Gサポ通信』は毎月発行しています。



地区別つどい／サポ・カフェ



サポーターのフォローアップとして研修会や地区別のつどい、平成30年度からは毎月の「サポ・カフェ」を開催し、サポーター間の交流と、ミニ学習、活動の中での不安の解消などをすすめています。

サポーター の実践①

「傾聴活動」



家庭訪問して



市内の福祉施設で

傾聴活動がサポーターの基本です。施設で経験を積み、介護支援専門員等の依頼により家庭訪問も行います。

「初期認知症カフェ」



真剣な表情でホットケーキづくり



コミュニケーション麻雀で楽しむ

本人と家族、サポーターに専門職が加わって、ともに心地よい時間を過ごします。ゆっくり時間をかけて・・・

サポーター の実践③

「共生型カフェ」



「チクチククラブ」が誕生



「いばしょ」「参加」を地域に

認知症の人、さまざまな障害のある人も、サポーターと一緒に「いばしょ」と「出番」を探る!!



サポーター の実践④

「移動足湯サポーター」



身も心もほっこり！



心配な人には「足湯招待券」でお誘い

地域の方、介護事業所、足湯サポーターで移動足湯。
最近顔を見なくなったという人には、招待券を持参し、
認知症の人の早期発見にも。

サポーター の実践⑤

「RUN伴への参加」



快晴のもと、風船を飛ばす



全員で記念写真

認知症本人、家族、サポーター、医療・介護の支援者が互いに交流し、タスキリレー。「楽しい運動会やった～」の本人の声に皆が感動！！

工夫・心がけたこと



住民と

ともに学んで
歩んでく

つなげよう

わたしの町の
宝もの

本人や

家族の言葉を
ありのまま

断らない

お呼びがあれば
どこへでも

今後の取組み(予定)や さらに強化したい点

- 認知症の人と家族の「いばしょ」と「出番」づくり
- 地縁組織とサポーターとの連携強化
- サポーターと専門職との連携強化...



課題は山積みですが、認知症の人本人や家族の視点を軸に、基本のPDCAサイクルを仲間と回すことを大切にしていきたいと考えます。

全国の推進員さんへのメッセージ

ひとりで見る夢は夢でしかない。しかし、誰かと見る夢は現実だ。
(オノ・ヨーコ)

**認知症を生きる人、
その人を支える家族にとって、
わが町はどう映っているのか**